

昭和57年度研究発表会講演要旨

北海道支部の研究発表会が、昭和57年6月10日、札幌市教育文化会館にて開催された。発表件数は、前年度の9件から14件と大幅に増加した。話題はすべて寒さと雪に関連し、北海道の生活にかかわりが深いものであった。約70名の参加者を得、終始活発な討論がおこなわれた。

日時 昭和57年6月10日(木) 10:10~16:30

場所 札幌市教育文化会館・大研修室

プログラム

午前の部 10:10~12:00 座長 遠藤辰雄

1. 落葉広葉樹の休眠芽の芽鱗と寒さ・乾燥との対応について…………… 3
齋藤 新一郎(道立林業試験所)
2. 雪腐小粒菌核病菌 *Typhula* spp. の生態的地位の分化と気象要因…………… 4
松本直幸・但見明俊(北海道農業試験場)
3. 大型垂直風洞による人工降雪実験(第2報)…………… 5
高橋庸哉・井上力・伊藤由幸(札幌市青少年科学館)
4. 手稲山の雪崩遭難事故…………… 6
清水弘・遠藤八十一(北大低温研)
5. 札幌市の給水装置における凍結件数の推定について…………… 7
金子佑(札幌市水道局)

午後の部 13:00~14:30 座長 小野寺弘道

6. 多雪地域における地上最大積雪重量の検討…………… 8
桜井修次(北海学園大)・城攻・柴田拓二(北大・工)
7. 住宅の無落雪屋根について…………… 9
藤村成夫(道立寒地建築研)
8. 低温領域(0℃付近)の着雪発達の確認実験について…………… 10
山岡勝・小林裕一(北電技研)
浅井修一(北電)・若浜五郎(北大低温研)
9. 地吹雪に関する野外模型実験 一防雪林と切土地形に関して一…………… 11
金田安弘・植松孝彦(気象協会道本部)
片山修・齋藤輝男(道路公団札幌建設局)
14:45~16:30 座長 石本敬志
10. 冬期の川の流出について…………… 12
本山秀明・小島賢治・小林大二(北大低温研)
11. 吹溜り現象の相似則について…………… 13
安濃豊(開発局建設機械工作所)
12. 着雪現象の模型実験について…………… 14
安濃豊(開発局建設機械工作所)
13. 模型雪による屋上積雪の風洞模型実験
その1. 活性白土と道工大風洞装置の相似則…………… 15
苫米地司・遠藤明久(北海道工大)
14. 模型雪による屋上積雪の風洞模型実験
その2. 3つの屋根形の堆積の定性的性状…………… 16
遠藤明久・苫米地司(北海道工大)